

道徳学習指導案

平成30年11月16日(火)
第1学年

授業改善の視点

個性がその人の生き方に関わっていることを多面的・多角的に考え議論させたことは、よりよく生きるために自分の個性を伸ばそうとする道徳的実践意欲と態度を育てる上で有効であったか。

- 1 主題名 「自分を見つめ個性を伸ばす」(中心内容項目 A:向上心、個性の伸長)
(関連内容項目 A:希望と勇気、克己と強い意志)

資料 「この人に学ぶ 山中伸弥」
(出典:「私たちの道徳」文部科学省)

2 主題設定の理由

(1) 学びのつながり

本主題は、学習指導要領「特別の教科 道徳」の内容「A 主として自分自身に関すること」の「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。」に基づいたものである。

小学校高学年	個性の伸長	自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。
中学校	向上心、 個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

小学校の段階では、自分が気付いた長所に目を向けそれを維持し伸ばそうとする態度を育てるとともに、自分の短所をしっかりと見極め、それを課題として改善し、自分自身を伸ばしていくことについて学習している。

ここでは、資料「この人に学ぶ 山中伸弥」を活用し、短所も自分の特徴の一側面であることを踏まえつつ、自己を肯定的に捉え、自己の優れている面等の発見に努め、固有の持ち味をよりよい方向へ伸ばし、より輝かせて生きようとする道徳的な実践意欲と態度を培いたい。

(2) ねらいとする道徳的価値について

中学生の時期は、自己理解が深まり、自分の在り方や生き方についての関心が高まる一方で、自分の姿を自らの基準に照らして考えたり、他人との比較において捉えたりするために、その至らなさに悩むことも少なくない。自己の欠点や短所にこだわるだけでなく、自己をまずは肯定的に捉えるとともに、自己の優れている面などの発見に努め、自己との対話を深めつつ、よりよく個性を伸ばしていくことができるようにしたい。

(3) 生徒の実態(略)

(アンケート結果)

自分の個性を挙げ、その個性を生かしていると答えた生徒 ○名

○明るい・上毛カルタが得意・ジャニーズラブ・泣き虫・人前が苦手・よく笑う ○どこでも踊ってしまう・優しい・数学が苦手・勉強苦手・夢中になるとすぐに引き込まれてしまう・記憶力がすごい・ダンスを一曲なら1時間で覚えられる ○考えることが得意
○挨拶ができる ○性格はおもしろい ○委員会などの仕事を忘れずにできる ○声が野太くて元気なところ(声が大きい、男子っぽい) ○ピアノが得意・機械音痴・おっちょこちょい・方向音痴・明るい・元気・根は真面目 ○短所は面倒くさがり、長所はない

<p>自分の個性を挙げ、個性を生かしているかどうかどちらとも言えないと答えた生徒 ○名 ○運動がまあまあ・たまに人の話を聞いていない ○静か ○行動が遅い ○すぐ人と仲良くなれるけどマイペース ○忘れ物をする・仕事ができる・元気 ○本を読むのが好き・人前で発表するのが苦手 ○文を書くことが苦手・暗記が得意</p>
<p>自分の個性を挙げ、個性を生かすということがそもそも分からないと答えた生徒 ○名 ○マイペース・運動が苦手 ○何事にもマイペース・頭が悪い ○集中力がない・ゲームが得意・マイペース・運動が苦手 ○人の話を聞いていないことがある ○誰とでも話せる・おおざっぱ・うるさい・あまり怒らない・運動ができない・好き嫌いがはっきりしている・後先考えない・スマホゲームなら得意・猫とすぐに友達になれる・元気で風邪をひかない</p>
<p>自分の個性が分からない ○名</p>

(4) 資料について

ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥氏は、最初から順調に研究者としての道を歩んできたわけではない。研修医時代、人間相手だと緊張してしまい手術に時間がかかり、指導教員から「ジャマナカ」と呼ばれていた。重症患者を救う手立てを研究したいという思いから研究者の道に進んだのが26歳の時。何度も壁にぶつかりそうになり、研究者をやめる寸前まで追い込まれる。しかし、順調なときも困難なときも一喜一憂せず、自己を見つめ「こう在りたい」という思いを常にもち努力を続け、再生医療への利用が期待されるiPS細胞を発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞した。その生き方から、自分の長所も短所も含めてそれが個性だということや、将来こう在りたいという願いをもって生きることのすばらしさについて考えさせたい。

3 指導方針

- ・導入では、事前に行った「あなたの個性は？あなたは自分の個性を行かしていますか？」のアンケート結果を提示し、長所や短所、よさや嫌だと思ふ面を含めて個性であることを捉えさせる。
- ・学習テーマをつかむ場面では、自分の個性を発揮できているかどうかを振り返らせることで、問題意識を持たせる。
- ・周囲の生徒との意見交流の場や話し合いの場を設定し、友達の様々な考えに触れさせることで、道徳的価値の理解や他者への理解を深められるようにする。
- ・自分の考えを話しやすいように、小グループでの話し合いを取り入れ、T1、T2で分担してその様子を見取り、支援する。発言を躊躇しがちな生徒には、友達の考えに対する感想等を発表するよう促す。
- ・「考え、議論する活動」では、個性がその人の生き方に関わっていることや、個性を伸ばすことで充実した生き方につながるということについて多面的・多角的に話し合わせ、道徳的価値の理解を深められるようにする。
- ・終末では、学習したことをもとに自分の個性について振り返らせ、これからの生活や生き方について考えたことなどをワークシートにまとめるさせる。
- ・事後の指導において、学校行事や学級活動の機会を利用して、個々の生徒の良さを伝えていく。

4 校内研修との関わり

本校の校内研修主題・副主題は『進んで他者とかわり、よりよい生き方を追求する生徒

の育成ー「考え、議論する道徳」の指導の充実を目指してー』である。

本授業を通して、自分を見つめ固有の持ち味をよりよい方向に伸ばし輝かせたり、自分自身で嫌だと思っている所を見方を変えて磨きをかけたりすることで輝く個性になることや、充実した生き方をするためには他者との関わりの中で自分らしさを発揮することが大切であることに気付かせることができると思う。

また、小グループによる意見交換の場で他者理解を深めさせることで、道徳的価値の理解を深め、多面的・多角的な見方や考え方へと発展させることができると思う。

5 本時の学習

(1) ねらい

人それぞれに必ずその人固有の良さがあり、自分の個性をより良い方向へ伸ばそうとする道徳的実践意欲と態度を培う。

(2) 準備 わたしたちの道徳、ホワイトボード、マーカーペン、ワークシート、掲示資料

(3) 展開

過程	学習活動	主な発問（○基本発問、◎中心発問）と 予想される生徒の反応（・） 期待される反応は_____）		支援及び留意点
導入	1. アンケートの結果を知る。 2. 本時のテーマを知る。	「あなたの個性は？あなたは自分の個性を生かしていますか？」というアンケートの回答を提示する。 ○個性はどんなところに生かせるのかな？ ○個性を生かした生き方ってどんな生き方かな？ 〈学習テーマ〉 自分を見つめ個性を伸ばす。	5分	・人によって様々な個性を持っていることを確認する。 ・自分では自分の個性が分からない人がいることから、自分では気づきづらいものかもしれないことを伝える。 ・個性を伸ばすことや生かすことへの問題意識をもたせる。
展開	3. 山中伸弥先生についての説明を聞く。 4. 資料の範読を聞き、山中先生についてどう思ったか感想を言う。	○山中先生はどんな人ですか？ ・ <u>運動が得意。</u> ・ <u>親思い。</u> ・ <u>あきらめない強い心を持っている。</u> ・人を助けたいという思いが強い。 ・ <u>頭が良い。</u>	2分 8分	・iPS細胞の作製に成功した人物であり、ノーベル賞を受賞した人だということを簡単に説明する。 ・T2が範読し、T1が生徒の表情を観察しながら巡視する。 ・T2は「臨床医」「基礎研究」「医学応用」等、語句の意味を簡潔に伝

	<p>5. 山中先生の進路変更個性がどのように活かされたのかを考える。</p> <p>考え、議論する活動</p> <p>①個人の考えをもつ。</p> <p>②交流を通じて考えを広げる。</p> <p>③ホワイトボードに班の中で出された意見を記入し、クラス全員で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャマナカと言われてもめげない<u>打たれ強い人</u>。 ・人間相手だと手術に時間をかけすぎてしまう<u>慎重</u>さがある。 ・自分の弱点を理解している。 ・<u>粘り強い</u>。 ・現実的。 ・決断力がある。 ・難病で苦しんでいる人を助けたいという<u>優しさ</u>がある。 ・手術は人間相手だと<u>緊張</u>してしまう。 ・<u>集中力</u>が高い。 <p>◎山中先生の個性は進路選択にどのように関わってきたのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>優しくて親思い</u>だから親の望む臨床医の道に進んだ。 ・<u>手術が下手</u>で臨床医としては役に立たないから研究者の道に進んだ。 ・<u>頭の良さ</u>を生かして医者になる道に進んだ。 ・<u>強い使命感</u>を持っているから研究することを止めなかった。 ・どんなに手術が上手でも治せない病気や怪我があるという現実を受け入れた。 ・父が亡くなる前に、臨床医になった自分の姿を見せることができたから思い切って研究者の道に進めた。 ・研究者であれば難病を治せる方法が見つかるかもしれないというという<u>強い信念</u>が研究者の道へと進ませた。 	<p>える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T2は、生徒の発言を板書する。 ・生徒が挙げた山中先生の人となり「個性」であることを確認する。 ・山中先生の長所だけではなく、短所にも目を向けさせ、それも「個性」であることを確認する。 <p>25分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーベル賞を受賞するまでの山中先生の人生の中で「進路」に焦点を充て、「個性」がどのように関わっていたのかに着目させる。 ・進路選択を具体的に理解させるために、資料から進路選択の部分を抜き出した掲示資料を黒板に提示し発問の意図を簡潔に説明する。 ・ワークシートに個人の考えを短時間で書かせる。 ・T1とT2は机間支援しながら小グループ内で挙がっている「個性」が同じでも違う見方ができることはないかと投げかける。併せて、誰がどのような考えを持っているかを確認する。 ・ホワイトボードには「議論の中で、話題の中心になった山中さんの個性は何だったのか。」「キーワード」「話し合った場面」等を入力するように伝える。 ・各班から挙げた考えを全体で共有し、自分の個性を見つめ、伸ばすことの良さや素晴ら
--	--	---	---

	<p>6. 今までの自分を振り返り、本時で感じたことや学んだことをワークシートに記入し発表する。</p>	<p>○自分の個性について振り返り、これからの自分の生活や生き方について考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>自分の個性が生き方に大きく影響することに気付いた。</u> ・<u>自分の個性を生かす道を考えていくことが大切だと感じた。</u> ・<u>自分のことをもっと理解して、人の役に立てるようになりたい。</u> 	<p>10分</p>	<p>しさに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のテーマを確認し、本時を振り返り感じたことを書かせ発表させる。
--	--	---	------------	---

6 評価の視点

- ・自分を見つめ個性を伸ばすことについて、山中伸弥先生の個性と生き方について多角的・多面的に議論する活動を通して、自分自身の考えを広げることができたか。
- ・自分を見つめ個性を伸ばすことについて、自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直しているか。

第24回 道徳

個性を生かしている ○名

個性を生かしているかどうか
どちらともいえない ○名

個性を生かすということが
そもそも分からない ○名

学習テーマ 自分を見つめ個性を伸ばす」

「この人に学ぶ 山中伸弥」

臨床医…
基礎研究…

○山中先生ってどんな人？

◎山中先生の個性は進路選択に、
どのように関わってきたのだろうか？

整形外科医の道を目指す。 整形外科医 臨床医)から基礎研究の道へ進む。 臨床医に戻りたいと思っただが、基礎研究の世界にとどまった。

ホワイトボード

●今日の道徳の授業を振り返って、感じたことや考えたことは？

「この人に学ぶ 山中伸弥」

1年 組 番 氏名 _____

◎山中先生の個性は、進路選択にどのように関わってきたのだろう。

● 今日の道徳の授業を振り返って考えたこと、感じたことを書きましよう。

(山中伸弥さんの画像・略歴)